

(b) 研究ノート

研究の報告。興味深い結果が得られたが被験者の数が足りない、同様な報告がすでにあるが追加のデータをまとめたなど、原著論文にするには不足があるが記録を公開して残すことが多い。多くの視覚研究者にとって価値があると思われる論文。査読は行わないが内容によっては編集委員会より変更を求めることがある。

(c) 講演要旨

本会主催の講演会・研究会・特別講演会などにおいて発表された講演の要旨。講演者が希望して投稿した場合に掲載する。査読は行なわないが、内容によっては編集委員会より変更を求めることがある。講演会での討論が内容に反映されていることが期待される。適宜、図を含め、刷り上がり4頁以内とする。Abstractは不要。

1.2.3 記事【依頼・投稿】

(a) さろん

研究会・講演会の報告、会員の意見、会員の活動状況、質疑応答など会員相互の交流に役立つ記事。

(b) Notice Board

日本視覚学会の活動状況報告および関係行事の予告等。

(c) 研究会関係

研究会のプログラム・抄録等。

(d) その他記事

1.3 原著論文投稿規定

本執筆要領はVISIONに掲載しようとするすべての原稿に適用する。原著論文を投稿しようとする場合は、原著論文投稿規定もあわせて熟読のこと。

2. 原稿の準備

原稿の準備は、正確な印刷と迅速な出版のため、下記のソフトにて作成された電子ファイルとそのプリントアウトで行なうこととする。

現在、受け付け可能なファイル等(随時変更される)は下記の通り。

媒体:

Macintosh FD, MO (230 MB)

DOS/Win FD (1.4 MB), MO (230 MB)

CD

E-mail 添付書類

(圧縮形式はお問い合わせ下さい)

文ファイル:

テキストフォーマット

マイクロソフトワード、アップルワークス、

EGワードのファイル

図ファイル:

EPSF ファイル

PICT ファイル

イラストレーター、キャンパス、

アップルワークスのファイル

マイクロソフトワード、パワーポイントの図はうまく印刷できないことがあります。

線図の場合は、ベクトルデータ(ドロー系ソフトで扱うデータ)での保存をお願いいたします。ファイル型式が PICT, EPSF の場合、ベクトルデータ、ビットマップデータ(ペイント系ソフトで扱うデータ)の両型式を扱うことができるので注意が必要です。特に OS X の PICT 型式では線画であってもビットマップデータに変換されてしまうことが多いようです。イラストレータでも HTML 用に保存すればビットマップに変換されてしまいます。

写真などの場合は、ビットマップデータとして保存して下さい。この場合、上記のほか、JPEG, TIFF 型式でも受け付けます。

TEX, HTML, PDF は、現在のところ扱っておりません。

3. ワープロ入力上の注意

3.1 一般的注意

段落の最初には全角空白1文字を入れる。

句読点(、。)は用いない。ピリオド(.)とカンマ(,)を使用すること。

数字などは1文字(1桁)の場合は全角、2文字(2桁)以上の場合には半角を用いる。文中の欧文も同様。欧文は必要な場合(文頭、固有名詞、ドイツ語の名詞など)以外はすべて小文字とする。

プリントアウト上で右側をきれいにそろえる

